

# すがわら文仁

SUGAWARA FUMIHI TO



特集

## 令和6年度の戸田市の重点施策

### 市長最新ニュース

安心・希望・持続可能な戸田市の未来を切り拓くため、日々奮闘しています。  
市長ニュースは、[市公式YouTube「戸田市TV」](#)で月2回配信中! →



#### ゼロカーボンシティを表明

戸田市は、脱炭素社会の実現を目指し「2050年ゼロカーボンシティとだ」を表明しました。(3/27)



将来も安心して暮らせる持続可能なまちづくりのために、市民の皆様にもご協力いただきながら脱炭素関連施策を推進してまいります。

#### 戸田第一小学校新校舎落成式

令和3年10月の着工から30カ月の工期を経て、新校舎が完成しました。(3/23)



遅滞なく校舎が完成したのは、建設にあたり構想段階から携わっていただきました皆さまのお力添えのおかげです。深く感謝を申し上げます。

#### 美里町との森林整備に関する協定

美里町と森林の保全及び地球温暖化対策の推進に関する協定書を締結しました。(3/13)



森林環境譲与税を活用し、姉妹都市の美里町が誇る名峰・陣見山に約4,600本の紅葉樹木を植林する森林整備を行います。

#### 令和6年度施政方針演説

3大プロジェクトの推進など新年度予算編成と各施策について提案説明しました。(2/21)



令和6年度も、市民一人ひとりの声にしっかりと耳を傾けながら、市民の命とくらしを守る取組を着実に進めてまいります。

#### 能登半島地震義援金募集

戸田公園駅の募金活動では、合計40万円以上もの義援金が集まりました。(1/5)



募金箱の前に行列ができるほどになり、市民の皆様への被災地に寄せる思いを感じて胸が熱くなりました。本当にありがとうございました。

#### 雨水貯留管シールドマシン発進式

北大通り地下において、シールドマシンの掘進が始まりました。(R5.12/19)



関係者の皆様と連携しながら、令和7年3月の完成に向けて最後まで安全第一に工事を推進し、「浸水被害ゼロ」実現を目指してまいります。

### 市民の信頼に応える政治を戸田市から

風薫る季節を迎え、皆様におかれましては日頃より市政運営へのご理解とご協力いただきありがとうございます。はじめに能登半島地震において犠牲となった方のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様にお見舞いを申し上げます。戸田市からは延べ6名の被災地派遣を行いました。今後も支援を継続するとともに災害対策の見直しをはかってまいります。

さて、国政では政治資金等の問題で、政治への信頼が大きく揺らいでいます。

「民信なくば立たず」これは古の偉人の言葉です。食糧、軍備、そして国民の信頼のうち政治を執る上で最も重要なことは「国民の信頼」であるという教えです。

人は信頼があってはじめて共感し、協力するものです。国民の協力があってはじめて、政治や行政は前に進むことができます。市政においてもそれは同じことです。私はこれからも、市民の信頼に応える政治を戸田市から実現してまいります。

今、私たちの目の前にはコロナ禍を経て、激動の時代が到来しています。賃金水準を大きく上回る物価高騰や10年早まった少子化、さらには超高齢化と人口減少による労働力不足など、我が国には困難な課題が山積しています。こうした困難に立ち向かうため、戸田市では令和6年度、未来を見据えた様々な対策を進めています。

今般、成立した新年度予算では「デジタル」「レジリエンス」「インクルーシブ」という考え方を重視しており、限られた財源の中、メリハリをつけた事業構成としております。

これまで同様、子育て支援や教育の充実、健康長寿のまちづくり、そして激甚化する災害対策といった「市長公約3大プロジェクト」を推進しながら、新たにカーボンニュートラルの推進や、本市ならではのスポーツ振興などにも挑戦いたします。

任期も折り返しを迎えましたが、あらためて市長として不偏不党の姿勢を貫き、一意専心に「このまちで良かった」と市民が実感できる市政に向けて全力を尽くしてまいります。

令和6年4月吉日 戸田市長 菅原文仁

# 令和6年度の戸田市の重点施策

# 戸田市3大プロジェクト

## 防災プロジェクト

### 能登半島地震を踏まえた大災害への備えの充実

#### ▶ 予備費を倍増! (1億円→2億円) ※( )内は令和6年度予算です。

災害発生直後、国や県の支援が届くまでの間、予算措置の時間をかけずに機動的な財政支出を実現します。

#### ▶ 災害備蓄品の強化(4,156万2,000円)

被災地で特に問題となった生活用水や電源の不足に対応するため、災害用トイレ・災害用電源などを新たに購入します。



自動ラップトイレ (イメージ)

その他：消防・防災フェアの開催/デジタル防災訓練・ブラックアウト訓練・災害対策本部訓練などを実施

### 危機管理体制の充実

#### ▶ 危機管理防災センター 機能の追加

(3,638万4,000円)

災害対策本部と離れた拠点にも災害情報を共有・伝達する手段を整備することで、適切な災害対応や迅速な情報発信を可能にします。

- (1) 移動系無線端末 (現場からの映像送信が可能) 100台導入
- (2) 災害時情報共有基盤 (電子黒板) 4台設置



### 水害への備え

#### ▶ 市内の水害対策

- (1) 雨水貯留管整備 (54億4,950万円)

戸田駅西口及び新曽地区北大通り周辺の浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設を整備。シールドマシンでの掘進作業などを経て、令和6年度末に完成予定です。

- (2) 道路冠水対策 (3億6,655万6,000円)
- (3) 道路橋からの溢水対策 (5,987万7,000円)
- (4) 上戸田川・さくら川整備事業 (4億8,548万7,000円)



シールドマシン



初期掘進状況

- ▶ 既存住宅耐震診断・改修補助金の拡充 (100万円→200万円)
- ▶ 危険なブロック塀撤去に係る補助金の拡充 (120万円→300万円)
- ▶ 消防署 東部分署建て替え (8,647万円)
- ▶ 消防車両の更新等 (9,287万4,000円)
- ▶ 避難場所提供に関する民間企業との協定を締結

## 100年健康プロジェクト

### シニア世代の健康増進

#### ▶ 高齢者補聴器購入費助成 (200万円)

シニア世代の他者とのコミュニケーションを確保するとともに、認知機能の低下や閉じこもりを予防し積極的な社会参加を促進するため、補聴器購入費の一部を助成します。

※対象者は、医師により必要性を認められている等の要件を満たす高齢者で、一人一回限り、県内最高水準の4万円を限度として助成します。



補聴器 (イメージ)

- ▶ 介護ロボット等導入支援補助 (200万円) 県内市町村で初!
- ▶ シニア向け企業説明会・見学会の開催 (24万9,000円)
- ▶ 「健康福祉の杜」改修工事 (1億3,079万3,000円)

### 健康政策の推進

#### ▶ 帯状疱疹ワクチンの接種費用助成

(2,996万2,000円)

帯状疱疹ワクチンは任意接種で高額な費用が個人負担となっていることから、令和6年4月以降、接種費用の一部を助成します。

※対象者 = 50歳以上の市民 / 助成額 = 生ワクチン 4,000円・不活化ワクチン 10,000円 × 2回。



- ▶ ひきこもり相談体制の強化 (155万2,000円)
- ▶ キッズ健幸アンバサダー養成プロジェクト (1,725万9,000円)
- ▶ 医療・福祉・地域連携による「社会的処方」の周知・啓発 (22万円)

### 妊娠・出産前後の女性支援

#### ▶ 産後ケア事業の拡大

(下記2事業と合わせて5,915万円)

従来の訪問型のケアに加え、新たに助産所等へ宿泊し、産婦やご家族の生活に合わせた自宅育児方法を支援する「宿泊型」(延泊可) ケアと、助産所などで自宅育児の相談に対応する「通所型」のケアを実施します。

- ▶ 産後サポートプログラムの新規導入・実施
- ▶ 子育て支援アプリ「母子モ」導入



※写真はイメージです

- ▶ 全ての世代の食育推進による健康づくり (256万6,000円)
- ▶ 戸田市ウォークブル推進事業 (1,991万円)
- ▶ 北戸田駅西口駅前交通広場整備 (2億6,012万7,000円)
- ▶ コバトンALKOOマイレージの加入促進・TODAPAYを使った健康マイレージのインセンティブ (844万2,000円)

## 「戸田市3大プロジェクト」とは

戸田市が抱える社会的課題を解決し、未来の戸田市を「より持続可能で誰一人取り残されない包摂的な社会」とするために推進する、3つのプロジェクトです。安心・希望・持続可能な戸田市を実現します！

# 子ども応援プロジェクト

### 教育や子育て支援の充実

#### ▶ 高校3年生相当までの医療費支給制度の拡充

(8,441万1,000円)

こどもの健康の向上や子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費（通院費）の支給対象を令和6年7月診療分から高校3年生相当まで拡大します。



- ▶ 児童・生徒用タブレットの更新(9,562万5,000円)
- ▶ こども家庭センターの体制強化や新たな子育て支援の充実(4,855万2,000円)

### 保育の質・魅力向上

#### ▶ とだの保育の質・魅力向上プロジェクト

(2億7,628万5,000円)

深刻化する保育士不足への対策と「安心して、預けられ、働ける保育園」であるために保育の質と魅力等の向上を図るプロジェクトです。保育士への経済的支援(①)と保育園の質・魅力向上(②)を車の両輪と捉え、共に推進します。



- ① とだ保育士応援手当(2億6,928万円)
- ② とだの保育の質・魅力向上事業(700万5,000円)

### 不審者の学校侵入防止

#### ▶ 小・中学校の防犯対策強化

(2億3,237万5,000円)

令和5年3月に発生した不審者侵入事件を受け、市内の全小中学校の防犯機能の強化を図り、児童生徒がより安全・安心に生活できる環境を整備します。

- (1) 安全性向上のためのフェンスの設置及び玄関のオートロック化(1億9,911万1,000円)
- (2) ネットランチャーの配備(3,326万4,000円)



フェンス(イメージ)



ネットランチャー(イメージ提供:日本工機株式会社HP)/簡易な操作で対象に接近せずに使用できます。((「ネットランチャー」は日本工機株式会社の登録商標です))



- ▶ 子どもの居場所の整備・拡充(1,582万1,000円)
- ▶ 不登校支援の充実/AIによるこどものSOSの早期発見・プッシュ型支援(1,991万円)
- ▶ 小学校増改築等工事(30億3,707万9,000円)・中学校改築等工事(1,606万円)・小中学校バリアフリー等工事(1億3,299万円)ほか

## 3大プロジェクト以外の取組

### 2050年 脱炭素社会 実現に向けた各種取組

戸田市は「2050年ゼロカーボンシティとだ」を表明しました(令和6年3月27日)。温室効果ガス削減に向けた取組を実施してまいります。

#### 1 市で取り組むこと(1,856万7,000円)

- ▶ 美里町との森林整備によるカーボンオフセットに関する協定の締結(加えて、植樹体験などのバスツアーを実施する)
- ▶ 公共施設等の太陽光発電設備等導入調査
- ▶ 公共施設への再エネ100%電力の調達

#### 2 市民・事業者の取組へのサポート(760万円)

- ▶ 省エネ家電(エアコン・冷蔵庫)買換補助金
- ▶ 再エネ由来電力への切替支援
- ▶ 事業者への省エネ診断等のエネルギー対策の支援

### 戸田市スポーツ推進条例の 新規制定

スポーツの持つ力を最大限活用し、市民の心身の健康づくりを促します。生涯にわたって体力や技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができるよう、関連施策をさらに推進してまいります(令和6年4月1日施行)。

#### ▶ スポーツの推進(1,184万8,000円)

- (1) スポーツセンター再整備に係る「基本構想」の策定(1,033万4,000円)
- (2) 「ボートのまちづくりコンソーシアム」(地域住民・ボート関係者・行政の協働)による協議・イベントの実施(71万4,000円)
- (3) 市内スポーツチーム応援の気運醸成(80万円)

### その他の取組

#### ▶ プレミアム付電子商品券「TODAPAY」の販売

(1億4,096万8,000円)

物価高騰の影響を受けている市内経済を支援するため、昨年に続き商工会と連携し、スマートフォンアプリ「TODAPAY」を活用したプレミアム付電子商品券の抽選販売を実施します。

#### ▶ 県内初「戸田市認知症とともに生きるあたたかいまちづくり条例」を新規制定(令和6年4月1日施行)

認知症の方及びその家族等の意思が尊重され、誰もが安心して暮らせるあたたかいまちを実現するために制定しました。

#### ▶ 「戸田市障がい者を理由とする差別のない共生社会づくり条例」を新規制定(令和6年4月1日施行)

市・市民・事業者が連携して、共生社会を実現するための指針として、本条例を制定しました。

※詳しくは、戸田市のWEBサイト「市長の部屋」よりご覧ください。

3月戸田市議会定例会前の記者会見資料



# 迅速に、着実に。誰一人取り残されない政治を。



「認知症」に関する啓発展示やWEB講座を実施



能登半島地震の被災地支援として市職員と給水車を派遣



大規模停電を想定した夜間避難訓練(ブラックアウト訓練)



ウクライナ避難民交流会(戸田市国際交流協会主催事業)



戸田市DX伴走型支援事業の成果発表会



ペット同行避難訓練(避難者カード記入体験・ケージ訓練等)



戸田市とイオン株式会社との包括連携協定締結式



戸田市とヤクルトレビズとの包括連携協定締結式



戸田市と戸田中央メディックス埼玉との包括連携協定締結式



PTAの旗当番として登校する児童生徒を見守る



新曽公民館まつり(2023年度よりWi-Fiを導入)



2024年イースタンリーグ開幕戦始球式のピッチャーを務める

## 現場に立ち、一人ひとりの声を生かして

私には「課題は市役所の中ではなく、現場にある」という信念があります。机上に並べた100の理屈よりも、自ら現場へ出向き、目にした課題・耳にした一人の困り事に説得力を感じます。

一方で「市長」とは、組織と執行権を有する役人でもあります。政治家としての心と、役人としてのリテラシーを備え、何事も「市民にとって良いか、否か」を軸に判断しています。市長は、市役所の中で誰よりも市民の声を知っていなければなりません。今後も常に現場に向かい、皆様と共により良い戸田市を創り上げていきたいと考えています。



## 戸田市長・菅原文仁氏に聞く

人手不足の解決策の一つとして期待の高まる生成AI。戸田市長は、2024年に自治体業務でも応用が始まるという。戸田市長は、生成AIを積極的に活用し、業務の効率化を進め、市民の生活向上に貢献したいと考えています。

## 生成AI効果 月500時間

### 本格導入で試算 業務の質向上めざす

「市のDX推進本部会議で、生成AIの活用を議論し、15年から本格導入を計画している」と、15年から本格導入を計画している。生成AIの活用により、業務の効率化が進められ、市民の生活向上に貢献したいと考えています。

### 政策など選択肢提示も

「生成AIは、業務の効率化を進め、市民の生活向上に貢献したいと考えています。また、政策の選択肢提示も行う予定です。」

### まちづくりにつながる 戦略的情報発信の重要性

戸田市の情報を戦略的に発信し続けてきたことで、近年、メディアに取り上げていただく機会も増えてきました。情報発信もまた、戸田市の発展や市民の生活向上に直結する重要な取組の一つです。情報発信をするところに情報は集まります。戸田市の魅力を伝えることで、他の自治体や民間企業と協力する新たな機会を創出できます。

また、市外の方には「戸田市で暮らしたい・働きたい」と、市民の皆様には「このまちに住んで良かった」と感じていただければ、活気あるまちづくりにつながるでしょう。これからも市の施策やニュースをしっかりとお届けできるよう、積極的な情報発信を続けてまいります。



埼玉県戸田市 人口は14万2,100人(2024年1月時点)。面積は18.7平方キロメートル。川を挟んで東武東上線と、JR埼京線や東武東上線が通る。戸田市は、交通の利便性が高く、人口が増え続けている。

（令和6年1月16日付 日本経済新聞）  
許諾番号:30098302 (株)日本経済新聞社の許諾を得て掲載しています。無断複製・転載を禁止します。

## SNSでも随時情報発信中!



Facebook



Instagram



X (Twitter)



公式WEBサイト

市政レポート99号 発行：菅原文仁後援会  
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F  
TEL/FAX 048-432-3585  
WEB <https://sugawarafumihito.com>  
E-mail [mail@sugawarafumihito.com](mailto:mail@sugawarafumihito.com)

【略歴】 ◆昭和50年生 ◆戸田市立美谷本小・美笹中卒/埼玉県立伊奈学園総合高卒/日本体育大卒(教員免許取得) ◆会社設立・経営(6年) ◆明治大学大学院修了(公共政策学修士) ◆戸田市議会議員(2期6年)/埼玉県議会議員(2期7年) ◆平成30年 第4代戸田市長に就任。外部有識者による検証で1期目の公約達成率96.5%を実現。  
■戸田ボートレース企業団企業長 | 蕨戸田衛生センター副管理者 | (公財)戸田市国際交流協会理事長 | 埼玉県ボート協会会長 | 埼玉県体操協会会長 | 東京経営短期大学客員教授 | 防災士

【座右の銘】「なせば成る、なせば成らぬ、何事も」(上杉鷹山)  
【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し・道満ジョギング  
【家族】父・母・妻・娘・息子  
※当紙の文字は全てユニバーサルデザインフォントを使用しています。  
(討議資料)